

本県における地方創生に向けた 取組みについて

平成31年(2019年)3月19日

熊本県

目次

I 本県の人口の状況	1
II 熊本復旧・復興4カ年戦略について	2 ~ 3
III 地方創生に向けた主な取組み	4 ~ 13
① 「すまい」の再建	
② 国際線振興による外国人誘客	
③ 国際スポーツ大会の開催	
④ コンセッション方式による空港の創造的復興	
⑤ 空港へのアクセス改善	
⑥ 八代港のクルーズ拠点整備	
⑦ 『ONE PIECE』×熊本 復興プロジェクト	
⑧ 自然共生型産業を核としたオープンイノベーション機能の確立	
⑨ 企業と連携した奨学金返還等サポート事業の展開	

参考資料

1 熊本復旧・復興4カ年戦略の進捗状況	15 ~ 17
2 熊本復旧・復興4カ年戦略の総仕上げについて	18 ~ 20
3 地方創生関係交付金の活用状況	21

I 本県の人口の状況

【人口の推移】

・本県の人口は1998年から減少傾向にあり、2003年からは自然減、社会減の状態が続いている。近年では出生数そのものは減少傾向にあるものの、合計特殊出生率は全国有数の高い水準を維持している。また、熊本地震後に大きく拡大した社会減は、その後回復の兆候が見られる。

	2015年(平成27年)	2016年(平成28年)	2017年(平成29年)	2018年(平成30年)
総人口(10/1現在)	178.6万人	177.4万人	176.5万人	175.6万人
自然増減	△5,115人	△6,485人	△6,931人	2019年9月 公表予定
出生数	15,577人	14,894人	14,657人	
死亡数	20,692人	21,379人	21,588人	
社会増減	△3,933人	△6,791人	△3,841人	△3,945人
転入数	27,916人	26,003人	27,138人	26,736人
転出数	31,849人	32,794人	30,979人	30,681人

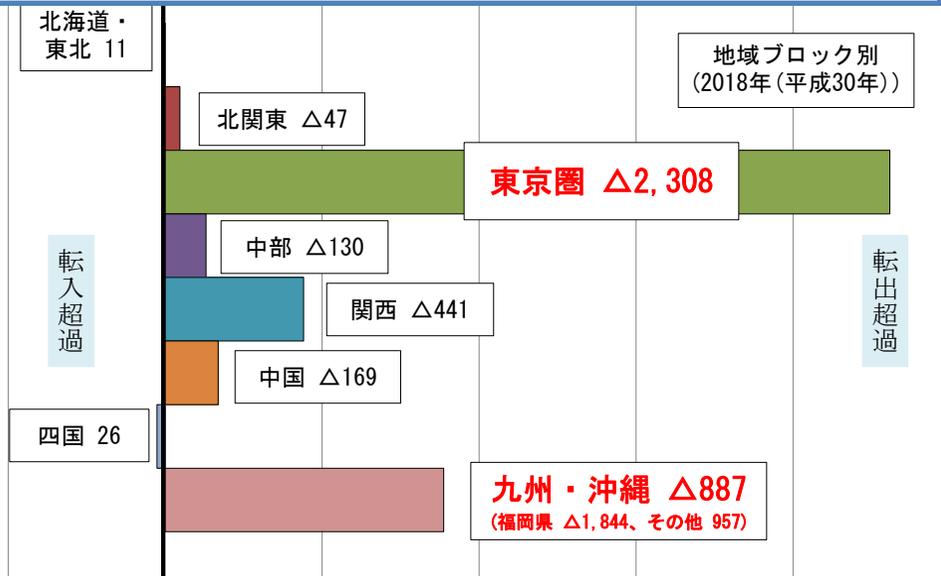
各都道府県の合計特殊出生率
2017年(平成29年)

1 沖縄県	1.94
2 宮崎県	1.73
3 島根県	1.72
...	...
6 熊本県	1.67
...	...
(全国平均)	1.43
...	...
45 宮城県	1.31
46 北海道	1.29
47 東京都	1.21

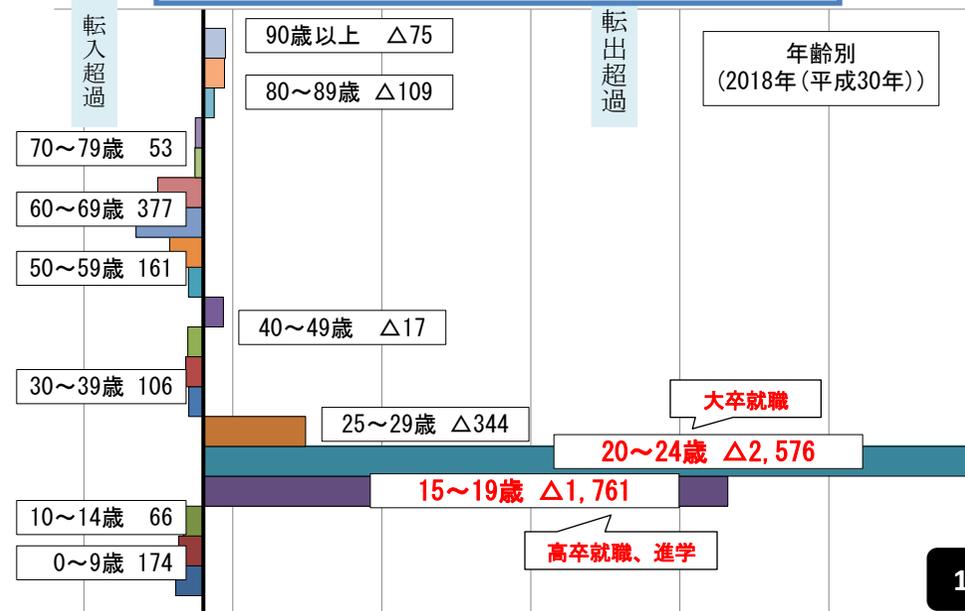
総人口：人口推計(総務省)
熊本県推計人口調査(熊本県)
自然増減：人口動態統計(厚生労働省)
社会増減：住民基本台帳人口移動報告(総務省)

【社会減の分析】

➢ 転出超過先は、その半数が東京圏(東京、神奈川、千葉、埼玉)
次いで福岡県



➢ 転出年齢層は15歳から24歳の若年層に集中



- **熊本県人口ビジョン及び熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定<平成27年10月>**
 - ・本県における人口の現状を分析し、今後めざすべき将来の方向を示した「熊本県人口ビジョン」を策定するとともに、「まち・ひと・しごと創生法」第9条に基づき、人口ビジョンに掲げる将来展望を実現するための目標や施策の基本的方向、具体的な施策等を示した「熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。

- **熊本地震発生**
 - ⇒ **平成28年熊本地震からの復旧・復興プランの策定<平成28年8月>**
 - ・熊本地震からの復旧・復興の道筋と熊本が目指す将来像を示し、一日も早い被災者の生活再建と被災地の創造的復興を図るため、中期的に達成すべき目標や具体的な取組み等を取りまとめたもの。

- **熊本復旧・復興4カ年戦略の策定<平成28年12月>**
 - ・「復旧・復興プラン」に掲げた「概ね4年間の取組み」に、地方創生に関する施策など、平成31年度までに取り組む必要があるものを追加。
 - ・「熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一本化し、蒲島県政3期目の基本方針として策定。

[戦略の期間:平成31年度まで]

※「復旧・復興プラン」の平成31年度までの全取組みを包含し、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一本化

基本理念

災害に強く誇れる資産を次代につなぎ
夢にあふれる新たな熊本の創造

たから

県民の総力を結集し、将来世代にわたる
県民総幸福量を最大化する

基本目標

1 災害に強く
県民が夢と誇り
を持ち安心して
暮らし続ける
熊本の創造

2 熊本を支える
力強い産業の
復活・発展と、
魅力ある雇用
の創出

3 熊本への人の
流れの再生・
加速化と、人材
流出の抑制

4 県民の結婚・
出産・子育ての
希望の実現

- 県民総幸福量を70ポイント
- 社会減を1,430人に半減
- 5年間の出生数を77,350人

取組みの方向性と実現に向けた施策

1 安心で希望に満ちた暮らしの創造
～安心・希望を叶える～

- 施策1 家族や地域の強い絆が息づく地域づくり
- 施策2 安全安心で暮らし学べる生活環境づくり
- 施策3 あらゆる状況に備える医療・福祉提供体制の構築

2 未来へつなぐ資産の創造
～未来の礎を築く～

- 施策4 災害に負けない基盤づくり
- 施策5 地域の特性を活かした拠点・まち・観光地域づくり
- 施策6 くまもとの誇りの回復と宝の継承

3 次代を担う力強い地域産業の創造
～地域の活力と雇用を再生する～

- 施策7 競争力ある農林水産業の実現
- 施策8 県経済を支える企業の再生・発展
- 施策9 自然共生型産業を核としたオープンイノベーション機能の確立
- 施策10 地域資源を活かす観光産業の革新・成長
- 施策11 地域を支え次代を担う人材確保・育成

4 世界とつながる新たな熊本の創造
～世界に挑み、世界を拓く～

- 施策12 空港・港の機能向上によるアジアに開くゲートウェイ化
- 施策13 世界と熊本をつなぐヒト・モノの流れの創出

川辺川ダム問題・水俣病問題・TPPへの対応 及び 適切な行財政運営

「すまい」の再建

○5つの支援策

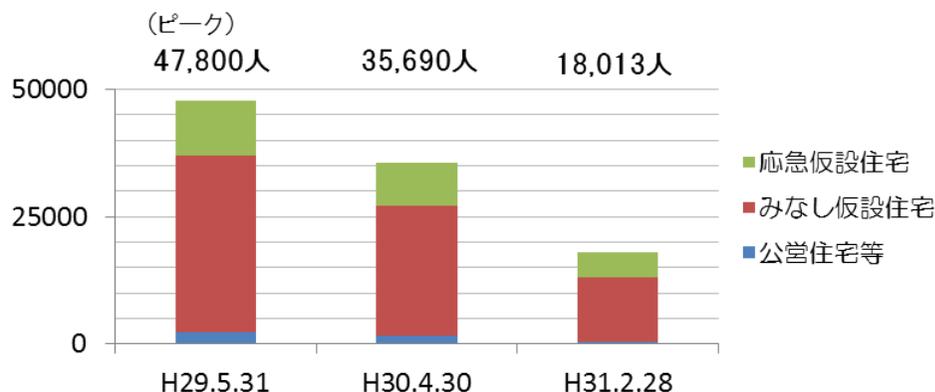
特徴：再建方法に応じたパッケージ支援

再建を 望む方 (H31.2月末時点) 約1万8千人   	自宅再建の場合 ※リバースモーゲージ制度 申請件数:40件(2月末) 【高齢世帯】 ① 高齢者向け新型住宅ローン 利息助成	全ての 世帯 ④ 転居費用 【一律10万円】 申請件数 12,375件 (2月末時点)	自宅再建  例：くまもと型復興住宅 建設費 約1,300万円 (税、付帯設備などを含む)
	賃貸住宅の場合 ※仲介手数料礼金など 申請件数:3,968件(2月末) 【一律20万円】 ③ 住み替え 初期費用の助成		賃貸住宅 
	⑤ 保証人不在者への対応 申請件数 12,375件 (2月末時点)		公営住宅 
	公営住宅の場合 ※H31当初予算案計上 新規 ⑥ 入居支度費用の助成 【一律10万円】		

H31. 2月末の仮設住宅等入居者 7,980戸 18,013人

- ・応急仮設住宅：2,125戸、4,986人
- ・みなし仮設住宅：5,692戸、12,637人
- ・公営住宅等：163戸、390人

■ 応急仮設住宅入居者数の推移



○災害公営住宅の整備

- ◆西原村第2河原団地災害公営住宅 12戸
- ◆宇土市宮境目団地災害公営住宅 25戸

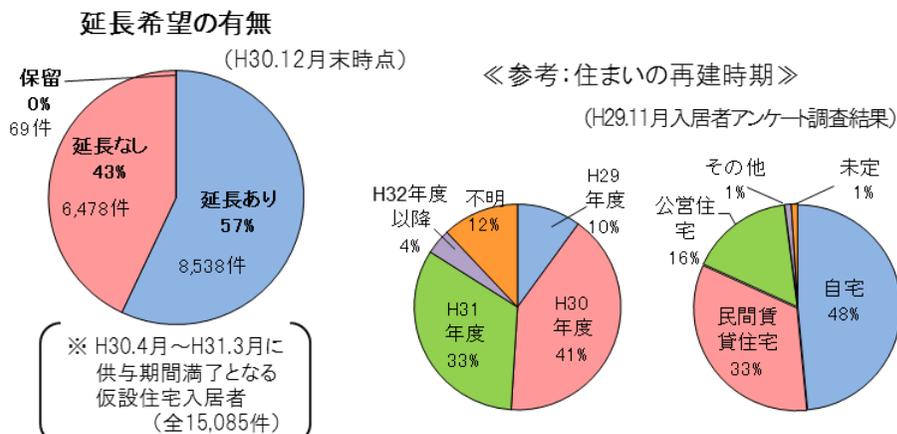


整備予定戸数
1,717戸

整備状況
(H31.2月末時点)

事業着手戸数 【事業着手率】
 (うち、工事着手・完了戸数)
1,717戸 【100%】
 (工事着手1347戸、完了317戸)

■ 仮設住宅の供与期間満了に伴う延長等の状況



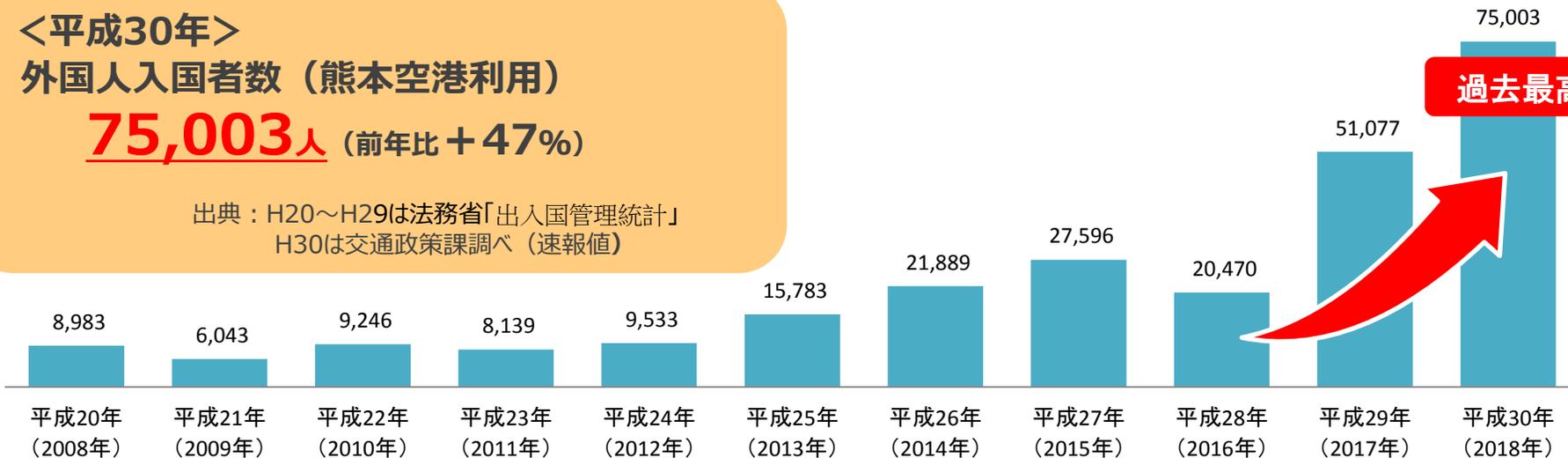
国際線振興による外国人誘客

<平成30年>

外国人入国者数（熊本空港利用）

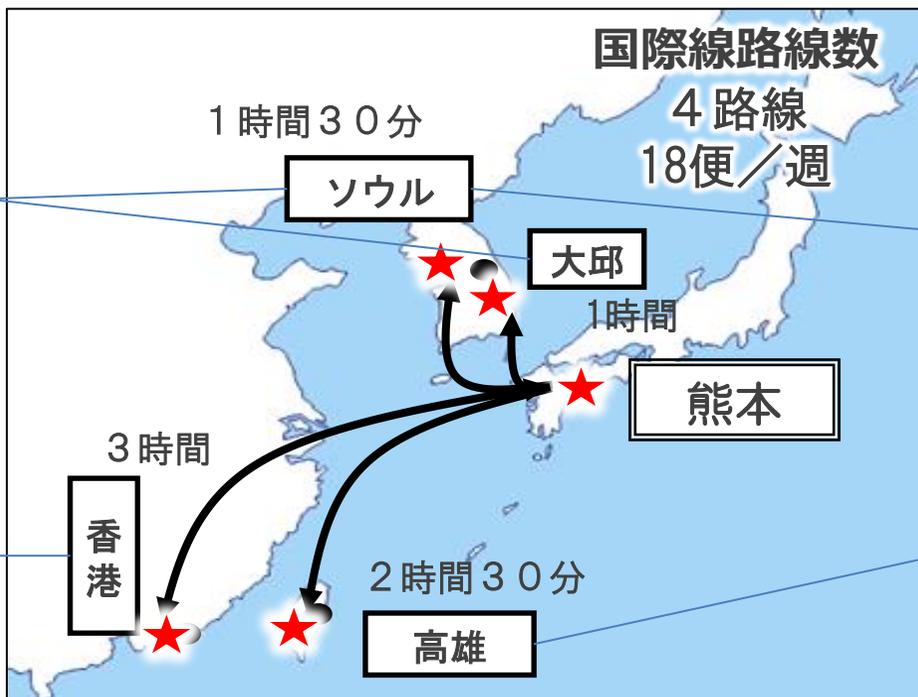
75,003人（前年比+47%）

出典：H20～H29は法務省「出入国管理統計」
H30は交通政策課調べ（速報値）



ティーウェイ航空(LCC)

韓国・ソウル(仁川) 週7便
韓国・大邱 週3便(火・木・土)



エアソウル(LCC)

韓国・ソウル 週3便(火・木・日)

香港エクスプレス(LCC)

香港 (H30.5.20定期便化) 週2便(木・日)

チャイナエアライン

台湾・高雄 週3便(火・金・日)

国際スポーツ大会の開催

【国際スポーツ大会開催で目指す成果】

- ① ラグビーワールドカップ2試合及び世界女子ハンドボール選手権96試合すべての円滑な実施運営を成功させる。
- ② ラグビー6万人及びハンドボール30万人の観戦者数(うち県外:4.7万人、海外:2.2万人)の目標を達成する。
- ③ 大会から得られる成果を「レガシー(遺産)」として活用し、地域・経済・国際・文化交流等の拡大を図る。

【2019女子ハンドボール世界選手権大会】

期 間:2019年11月30日(土)~12月15日(日)

会 場:パークドーム熊本、アクアドームくまもと

県立総合体育館(熊本市)

八代市総合体育館(八代市)

山鹿市総合体育館(山鹿市)

参加国:24カ国(現時点で、日本、フランスなど14カ国が決定)

試合数:96試合(6/21に組合せ抽選会を実施)



【ラグビーワールドカップ2019™】



フランス代表 vs トンガ代表

《2019年10月6日(日)16:45~》



ウェールズ代表 vs ウルグアイ代表

《2019年10月13日(日)17:15~》



6/20までオフィシャルサイトで先行先着販売中!

3/31までオフィシャルサイトで第二次一般先着販売中!

【国際スポーツ大会に向けた今後の主な取組み】

- ☛ 受入態勢の充実(施設整備、おもてなし 等)
- ☛ 更なる機運醸成(広報PR、官民一体となった盛り上げ 等)
- ☛ 誘客の促進(広報PRと連携したチケット販売 等)



《県立総合体育館LED工事》



《国際スポーツ大会を盛り上げる会(3/3)》

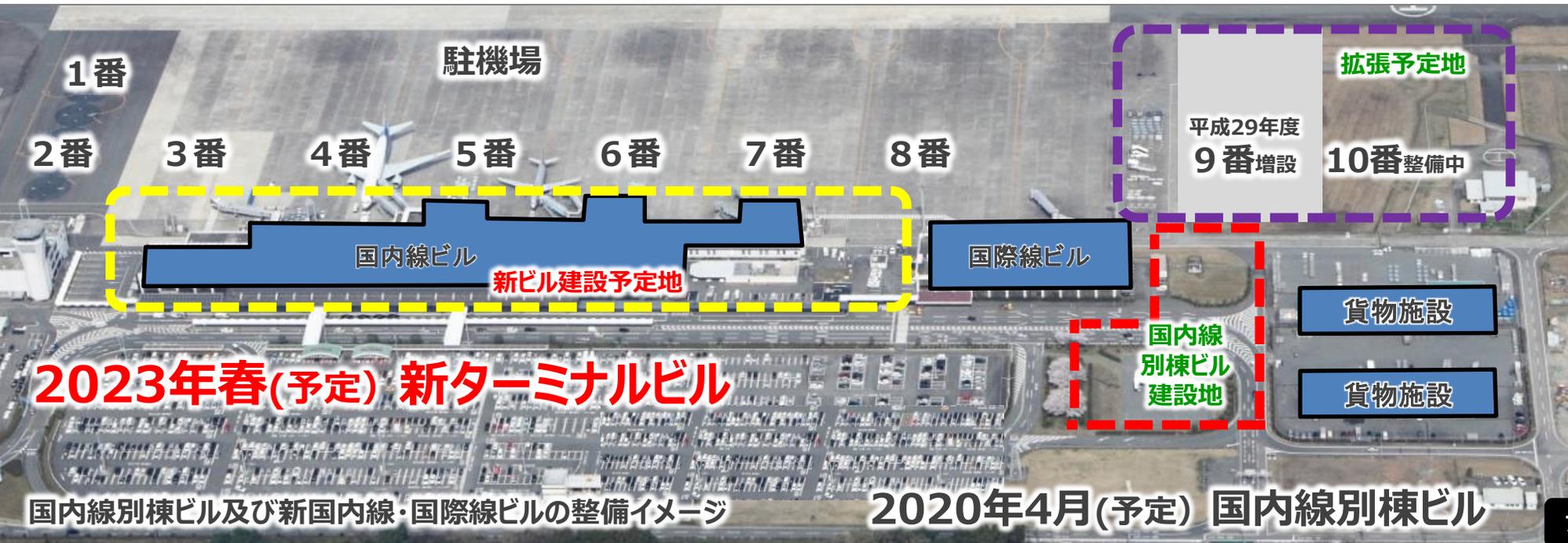


《男子ハンドボール世界選手権での誘客活動(ドイツ/デンマーク)》

コンセッション方式による空港の創造的復興

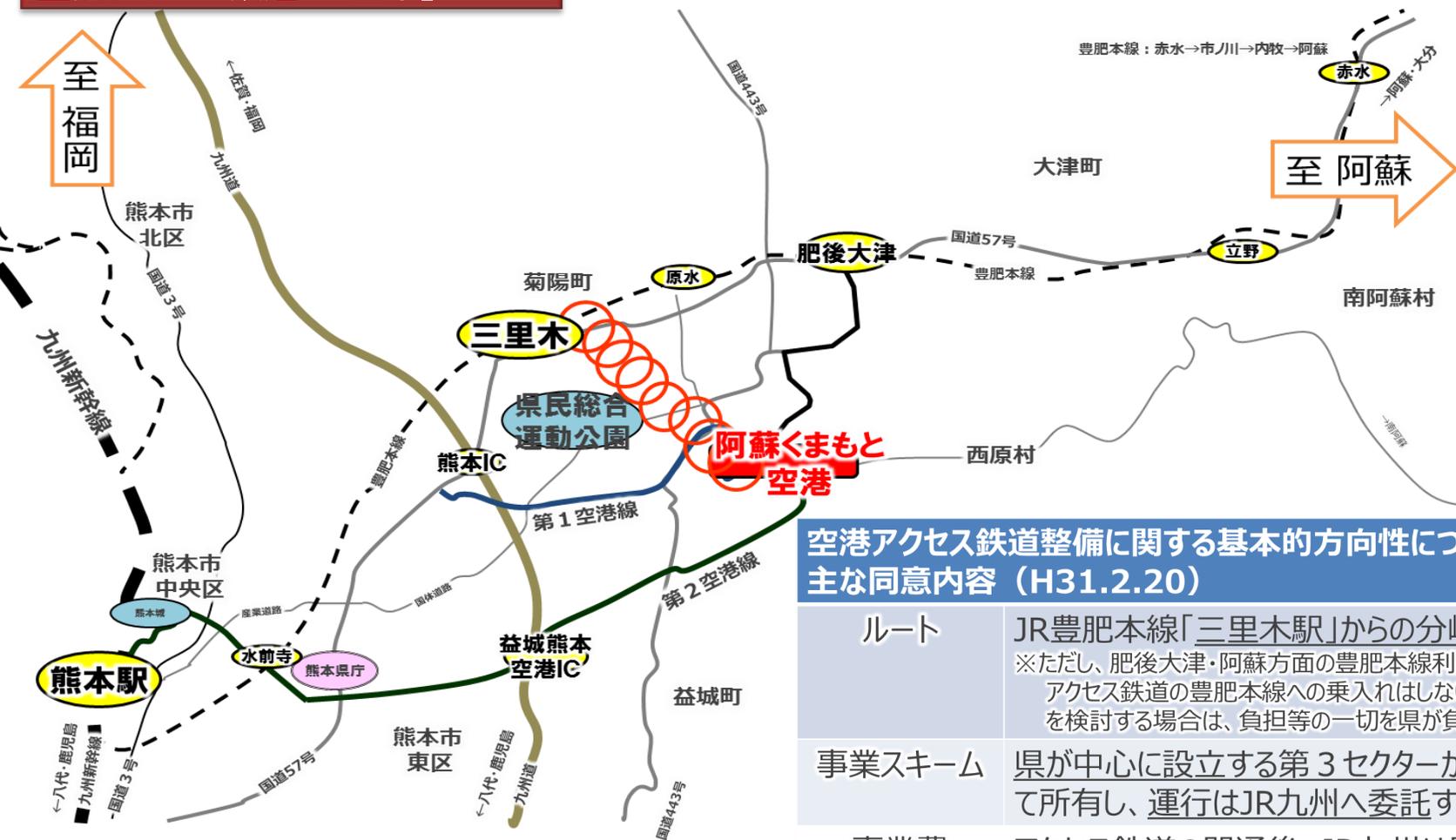
熊本空港ターミナル地域再編 想定スケジュール・整備イメージ

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度～
現国内線ビル	運用 (空港ビル(株) → 新会社)			解体 (新会社)			
国内線別棟ビル	設計 (国)	工事 (国)		運用 (新会社)			
新ビル			設計 (新会社)	工事 (新会社)			運用 (新会社)



空港へのアクセス改善

空港アクセス鉄道「三里木」ルート



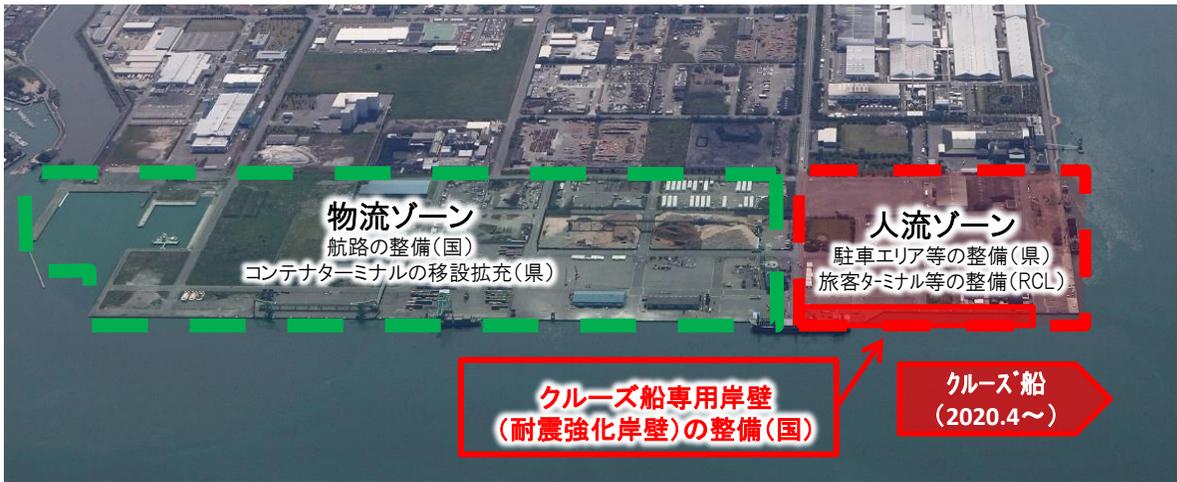
空港アクセス鉄道整備に関する基本的方向性について、JR九州との主な同意内容（H31.2.20）

ルート	JR豊肥本線「 <u>三里木駅</u> 」からの分岐ルート ※ただし、肥後大津・阿蘇方面の豊肥本線利用者の利便性維持のため、アクセス鉄道の豊肥本線への乗入れはしない。豊肥本線への乗入れを検討する場合は、負担等の一切を県が負う。
事業スキーム	県が中心に設立する第3セクターが鉄道施設を整備して所有し、 <u>運行はJR九州へ委託する。</u>
事業費	<u>アクセス鉄道の開通後、JR九州は既存路線増益効果の一部を第3セクターに支出する。その支出総額は整備費の1/3を上限とする。</u>

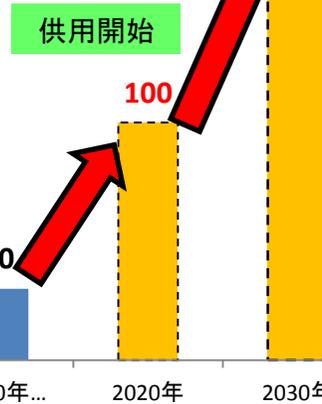
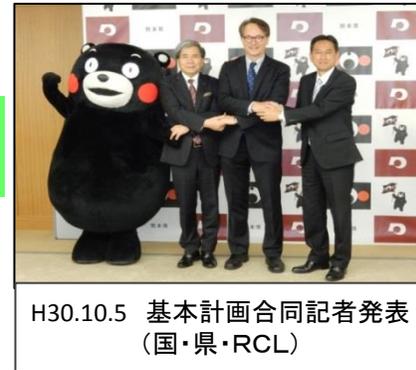
今後、この方向性の内容を踏まえて、国、JR九州等関係機関との協議を深めるとともに、JR九州との協定締結を視野に、詳細な調査・検討を行い、空港アクセス鉄道の実現に向けた取組みを加速化していく。

八代港のクルーズ拠点整備

○クルーズ船専用岸壁及び駐車エリア等の整備

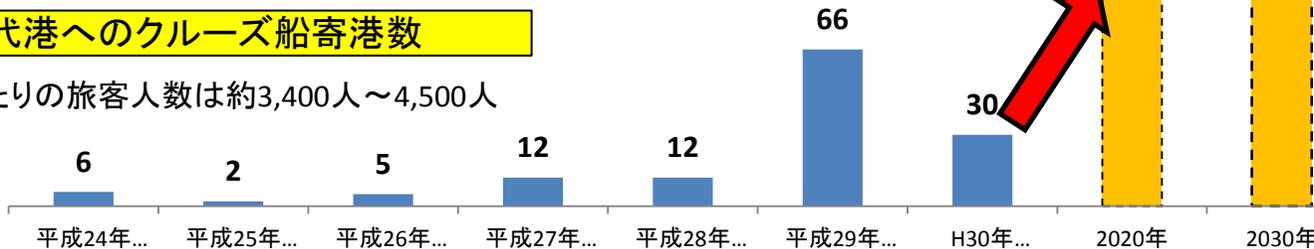


供用開始から10年以内



八代港へのクルーズ船寄港数

※1隻あたりの旅客人数は約3,400人~4,500人



◆年間200隻程度の寄港実現に向けた受入環境整備を国、県、船社で連携して実施 [H29(2017)~H31(2019)年度の3年間]

- 平成29年 7月 全国6港の一つとして国際旅客船拠点形成港湾に指定
- 平成29年11月 拠点形成の基本方針等を定めた「八代港における国際旅客船拠点形成計画書」を作成
- // 国直轄事業によりクルーズ船専用岸壁の工事に着手
- 平成30年 2月 県とロイヤルカリビアン・クルーズ社(RCL)との間で「八代港クルーズ拠点形成協定」を締結
- 平成30年10月 国、県及びRCLの3者合同で八代港クルーズ拠点基本計画を記者発表
- 平成31年 1月 県が整備する駐車エリアの造成工事に着手

Ⅲ 地方創生に向けた主な取り組み⑦ 『ONE PIECE』×熊本 復興プロジェクト①

- ・漫画『ONE PIECE』と連携し、熊本地震からの創造的復興を力強く後押しするプロジェクト。
- ・昨年11月末に「ルフィ像」が完成し、「復興のシンボル」として県民に勇気を与え、国内外のファンを呼び込む役割を果たしている。更に広く被災地の復興を応援するため、「麦わらの一味」の仲間の像を被災した県内各地に設置する予定。

「麦わらの一味」の仲間の像の設置に向けたスケジュール

H30年10月 市町村の提案募集開始（～11月）

H30年11月 「ルフィ像」が完成

H31年1月, 3月 有識者との意見交換会

H31年4月(予定) 「復興ウィーク」に設置場所を公表



常設は世界初!

尾田先生の
「県民栄誉賞」
を記念する
ルフィ像が
熊本県庁
に完成!!



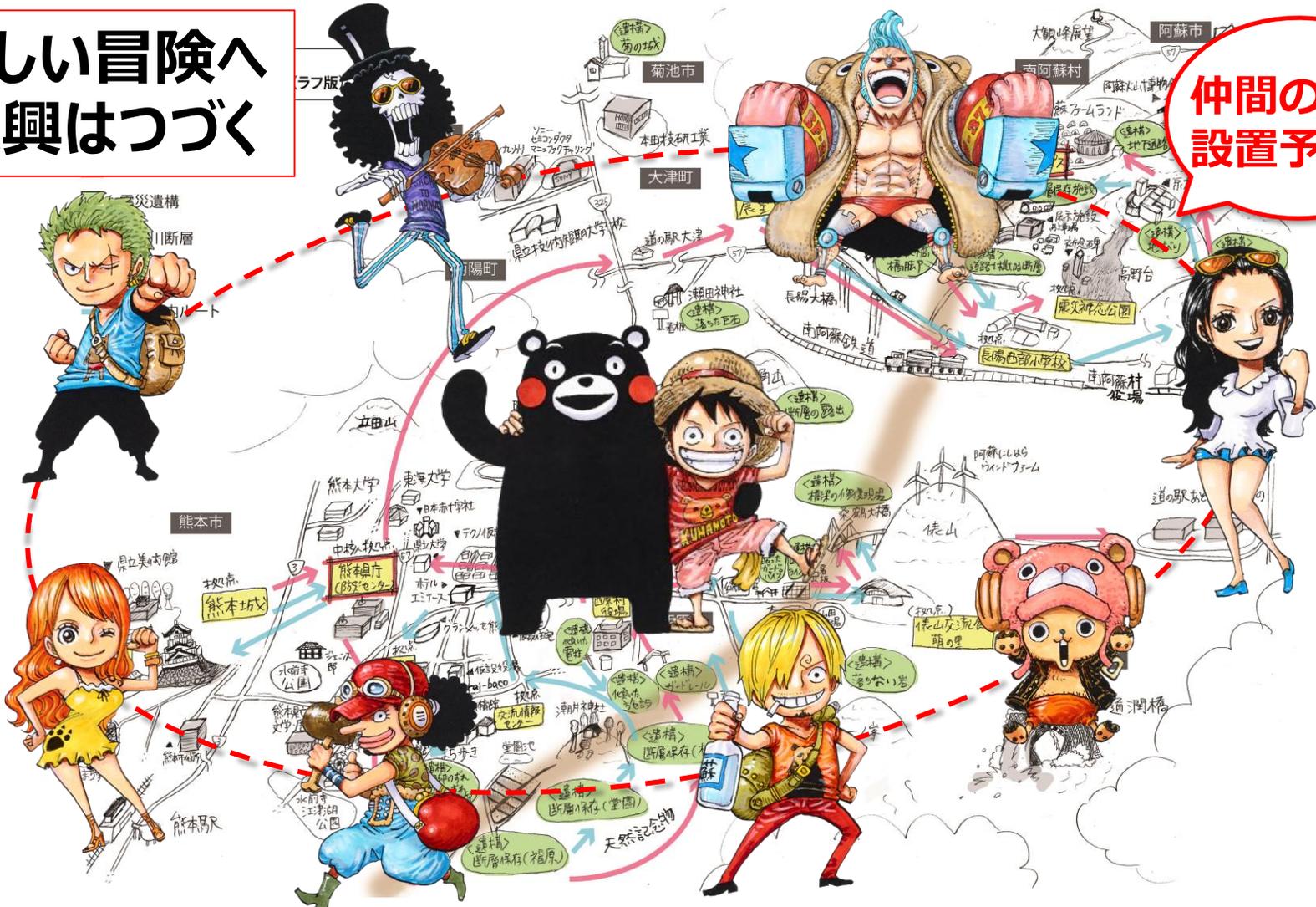
本人手形



H30.11.30除幕式

©尾田栄一郎/集英社
©2010熊本県くまモン

新しい冒険へ
復興はつづく



「麦わらの一味」が熊本の復興を応援！

- ・本県の豊かな自然環境や資源を活かした自然共生型産業（アグリ・バイオ・ヘルスケア・食品加工・環境・水等）など、新たな事業の創出と起業の促進を図る。
- ・起業をめざす若者が起業しやすい環境、新たなビジネスが絶え間なく生まれ育ちやすい環境を整備し、熊本の活力創造につなげていく。

平成28年2月9日

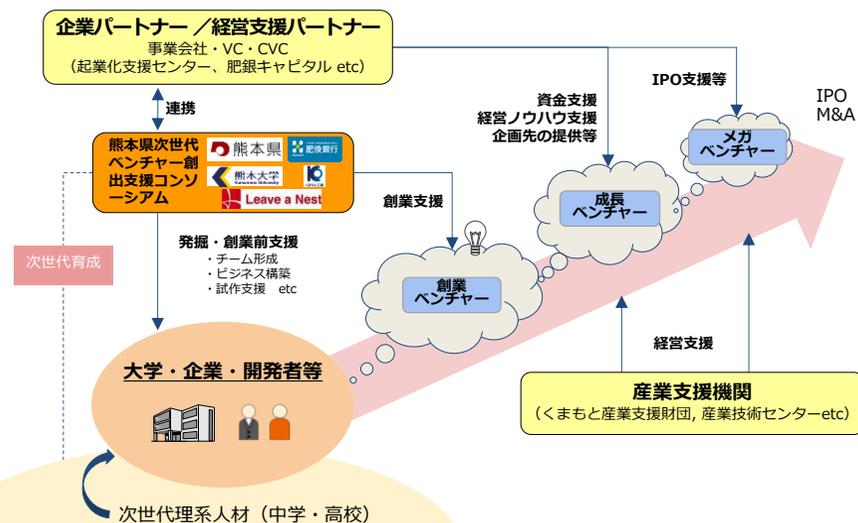
「次世代ベンチャーの発掘・育成に向けた連携協定」を締結

- ・熊本県
- ・(株)肥後銀行
- ・国立大学法人熊本大学
- ・(一社)熊本県工業連合会
- ・(株)リバネス



「熊本県次世代ベンチャー創出支援
コンソーシアム」を設立（平成28年4月）

熊本県における次世代ベンチャー発掘・育成システム概要



平成28年～平成30年の実績

【発掘・掘り起し】

延べ88チーム（H28：22、H29：33、H30：33）

※熊本県復旧・復興4カ年戦略では、H28～H31の4年間で「次世代ベンチャーコンテストエントリー件数60件」を目標としている。

【起業】

熊本大学発ベンチャー4社を含む7社が誕生。

【雇用実績】

17名を雇用。代表者、役員を含むと34名の働く場を創出。

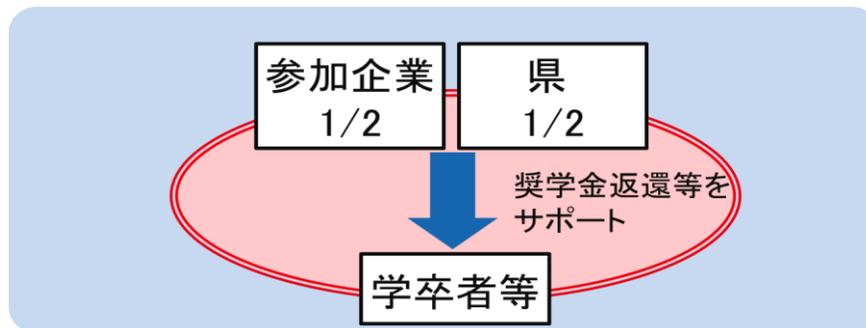
【資金調達】

助成金や融資・出資を通して7社が合計3億5000万円の資金調達。



制度の概要

- 熊本県と県内企業とが2分の1ずつを負担し、就職した若者の奨学金返還等をサポートすることにより、参加企業の人材確保と定着を図ることが目的。
- 多くの県内企業等が制度に賛同。220人の支援・地元定着を目指す(2020年度就職者)。



就職する若者への支援メニュー

- 3つの支援メニューを設定し、幅広い人材の確保を目指す。

支援メニュー	支援対象者	支援内容 (設定上限)	支給時期	予定 人数
①奨学金支援枠Ⅰ	奨学金利用者 大学院修了者等	奨学金返還の支援 (456万円)	就職後10年間に分けて支給	10
②奨学金支援枠Ⅱ	奨学金利用者 4年制大学卒業者等	奨学金返還の支援 (大卒244.8万円、 院卒456万円)	就職後10年間に分けて支給	100
③熊ターン応援枠	奨学金を利用していない者等 大学等の卒業者、社会人経験者(県外)	赴任費用の支援 (20万円) 研修等費用の支援 (30万円)	就職1年目、 5年目に支給	110

參考資料

“安心して希望に満ちた暮らしの創造”

・「すまい」の再建を強力に後押しする「5つの支援策」*を展開。

*①リバースモーゲージ利子助成、②自宅再建利子助成、③民間賃貸住宅入居支援助成、④転居費用助成、⑤保証人不在被災者支援

・災害公営住宅について、整備予定の1,717戸のうち、約80%に工事着手し、約20%が工事完了(H31年2月末現在)。



- ・平成30年12月末で、全ての市町村において熊本地震に係る公費解体及び災害廃棄物処理が完了。
- ・社員や従業員等の仕事と生活の充実を応援する「よかボス企業」が300社超え(H31年3月現在)。



【H29末までに達成した主なKPI】

・住宅耐震化補助制度(診断、設計、改修に係る費用補助)がある市町村数

【戦略策定時(H27): 16市町村 ⇒ 45市町村(目標: 45市町村)】

・交通事故死傷者数

【戦略策定時(H27): 8,616件/年
⇒ 7,442件/年(目標: 前年(7,996件/年)比減)】

・県立高校及び県立特別支援学校における防災型コミュニティ・スクール設置率

【戦略策定時(H27): - ⇒ 100%(目標: 100%)】

“未来へつなぐ資産の創造”

・阿蘇地域へのアクセス道路については、南阿蘇村道長陽大橋ルートの開通とともに、国道57号北側復旧ルート及び国道325号阿蘇大橋ルートの工事などを促進。また、熊本天草幹線道路の三角大矢野道路の供用を開始したほか、九州中央自動車道や南九州西回り自動車道が部分開通。

・「天草の崎津集落」を含む「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録(H30年6月)。



- ・熊本城や阿蘇神社をはじめとした被災文化財について、国・市町村等と連携して復旧を推進。

【H29末までに達成した主なKPI】

・市町村等が広域的に連携・協働して取り組むスクラムチャレンジ推進事業の実施件数

【戦略策定時(H26): 11件 ⇒ 52件/3年(目標: 50件/5年)】

・景観アドバイザーを活用した景観形成活動・事業の数

【戦略策定時(H27): 1件/年 ⇒ 15件/年(目標: 10件/年)】

“次代を担う力強い地域産業の創造”

- ・熊本市、阿蘇市、南阿蘇村での農地復旧と併せた大区画化・集積等を進め、営農再開を目指す被災農家の99.3%が営農を再開(H31.2月末現在)。
- ・「くまさんの輝き」の生産・販売を促進するとともに、収益性の高いイチゴ「ゆうべに」の栽培面積を拡大。
- ・グループ補助金の申請予定件数4,884件のうち、4,861件の交付決定を行い、約3,900件の復旧を完了(H31.2月末現在)。
- ・平成29年度の企業立地件数は、研究開発部門が過去最多の8件となるなど、過去最高の46件を記録。
- ・大河ドラマ「いだてん」を活用した誘客促進。
- ・県内外の学生と企業とのマッチング等や、保護者向けの見学会等によるブライト企業の認知度向上、「しごとコーディネーター」による県内就職推進等を実施。



【H29末までに達成した主なKPI】

・農林水産物の輸出額

【戦略策定時(H27): 43億円 ⇒ 53.9億円(目標: 51億円)】

・被災した漁港、海岸保全施設(公共土木施設県管理分)の災害復旧事業の進捗率

【戦略策定時(H27): - ⇒ 100%(目標: 100%)】

・雇用保険適用事業所における開業率と廃業率の差

【戦略策定時(H26): 開業率5.1% ⇒ 開業率5.4% (目標: 開業率 ≥ 廃業率)
廃業率3.5% ⇒ 廃業率3.1%

“世界とつながる新たな熊本の創造”

- ・阿蘇くまもと空港運営の民間委託に向け、現地視察・セミナーを開催するとともに、国等関係者との協議・調整を適宜行い、国の募集要項の平成29年度内公表を実現。
- ・八代港のクルーズ拠点整備の基本計画を公表。駐車エリアの造成工事に着手。
- ・ラグビーワールドカップ2019™と2019女子ハンドボール世界選手権大会の準備が本格化。



八代港クルーズ拠点コンセプト図



くまモン誕生祭でラグビーワールドカップPR



写真提供: JHA

アジア選手権 おりひめJAPAN準優勝

【H29末までに達成した主なKPI】

・2020年東京オリンピック強化指定選手数

【戦略策定時(H27): 45人 ⇒ 29人(目標: 20人以上/年)】

・2020年東京パラリンピック強化指定選手数

【戦略策定時(H27): 20人 ⇒ 13人(目標: 8人以上/年)】

※平成29年度実績（平成31年2月末時点で実績を把握できたもの）

延べ133の重要業績評価指標の動向(戦略策定時と評価時との比較)を見ると、全体では**103指標(78%)が上向き**、7指標が横ばい、20指標が下向きとなった。
また、うち**15指標(11%)が目標値を達成**。

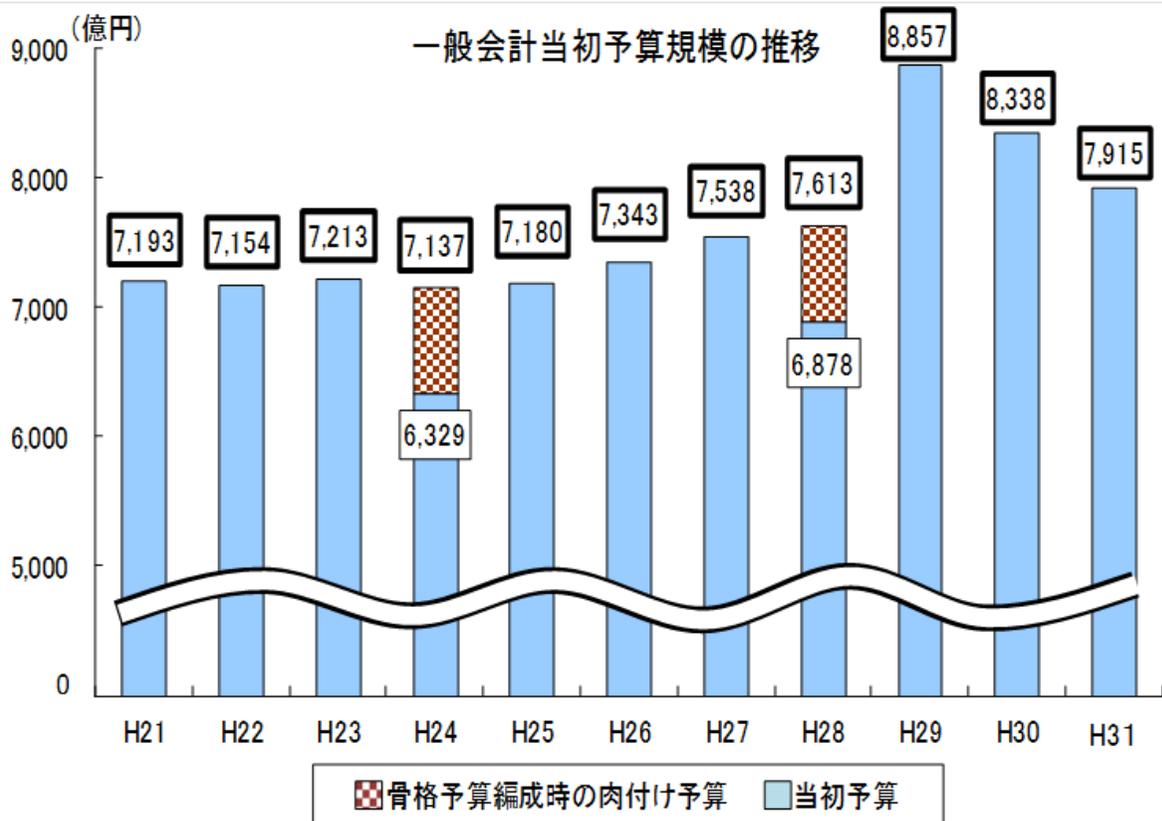
取組みの方向性	指標数	上向き 	横ばい 	下向き 	未集計他 —	目標値 達成
全体	133	103 (78%)	7 (5%)	20 (15%)	3 (2%)	15 (11%)
安心して希望に満ちた暮らしの創造	35	28 (80%)	1 (3%)	6 (17%)	0 (0%)	7 (20%)
未来へつなぐ資産の創造	36	27 (75%)	4 (11%)	5 (14%)	0 (0%)	2 (6%)
次代を担う力強い地域産業の創造	50	42 (84%)	1 (2%)	6 (12%)	1 (2%)	4 (8%)
世界とつながる新たな熊本の創造	12	6 (50%)	1 (8%)	3 (25%)	2* (17%)	2 (17%)

* 戦略策定時との比較ができない指標です。

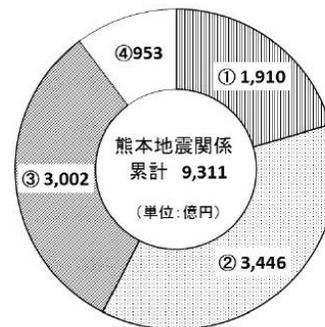
➤ 一般会計当初予算の規模 **7,915億円**（平成30年度 8,338億円）

「熊本復旧・復興4カ年戦略」の総仕上げとして、
 創造的復興を実現し、将来世代にわたる県民総幸福量の最大化と熊本の更なる発展に向け、
 「ジャンプ（飛躍）」するための予算を目指し、
 重点課題に対して、より実効性の高い施策が大胆に展開できるよう編成

【一般会計当初予算規模の推移】

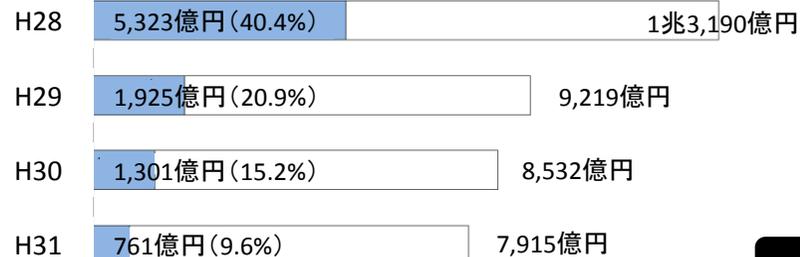


【熊本地震関連予算 累計】



- ① 被災者の救済、生活支援
- ② 産業復興支援
- ③ 社会・産業インフラの機能回復
- ④ その他

【総予算額に占める地震関係予算の割合】



“安心して希望に満ちた暮らしの創造”

○ 住まいの再建

- ・被災された方々の恒久的な住まいの確保に向け、「5つの支援策」に加え、6つ目として公営住宅への入居を支援、併せて相談支援体制を強化



○ 県立学校におけるICT環境の整備

- ・情報活用能力の育成に関する学習活動の充実を図るため、県立学校にICT機器を導入

○ 少子化対策総合交付金の創設

- ・婚活や不妊治療経費の助成を含む総合的な少子化対策に取り組む市町村に対する支援



“未来へつなぐ資産の創造”

○ 益城町の復興まちづくり

- ・県道熊本高森線4車線化のモデル地区の整備
- ・木山地区の土地区画整理事業の仮換地指定の推進



熊本高森線4車線化のイメージ

○ 移住定住の促進

- ・移住相談窓口を東京、大阪(新規)、熊本に設置するなど、移住定住を支援

○ 阿蘇くじゅう国立公園の魅力の向上

- ・国立公園満喫プロジェクトによるビューポイントやトレッキングコースの整備等



“次代を担う力強い地域産業の創造”

○ 競争力ある農林水産業の実現

- ・「スマート農林水産業」の普及推進
- ・新規就業者の就農相談から定着まで総合的に支援する仕組みの構築
- ・「くまもと林業大学校」による即戦力となる人材等の育成
- ・新たな輸出国の開拓などによる農林水産物の輸出拡大



タブレットを活用した農業普及指導状況



就農支援にも使用される
農業大学校 研修交流館
(H31年3月竣工)

○ 外国人材の活躍促進

- ・技能実習生への日本語の教え方等を習得する講習や、外国人材の受入体制整備に取り組む経済団体等に対する助成等

○ 若者の県内就職・定着促進

- ・新規学卒者の県内就職促進を強化(PR動画の作成、社員寮整備への助成、マッチング機能の充実等)
- ・企業と連携した奨学金返還等サポート事業の展開(2020年度以降就職予定者～)

“世界とつながる新たな熊本の創造”

○ 大空港構想 Next Stageの推進

- ・コンセッション方式により決定した運営権者との連携方策等の協議や、空港アクセス鉄道の詳細調査等

○ くまモン活躍基金の創設

- ・くまモンの継続的な活動に必要な財源を確保し、くまモン及び熊本のブランド価値を更に高め、世界へ向けた様々なチャレンジを実施

○ 国際スポーツ大会の開催

- ・ラグビーワールドカップ2019™及び2019女子ハンドボール世界選手権大会の開催



写真提供: JHA

参考資料 3 地方創生関係交付金の活用状況

【地方創生関係交付金とは】

国が次のような取組みを支援

- 自治体の自主的・主体的な取組みで、先導的なもの
- KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組み

【地方創生関係交付金の活用状況】

- ・平成26年度～平成30年度の交付決定総額は、約66億円。本県は、平成29年度推進交付金(地域未来投資)で全国1位、平成29年度補正拠点整備交付金で全国2位の交付決定額となるなど、地方創生関係交付金を積極的に活用している。
- ・平成31年度に実施予定のプロジェクトは、次のとおり。

平成31年度地方創生推進交付金

新規 継続	No	プロジェクト名	申請額 (千円)
継続	1	阿蘇草原再生・しごと創生プロジェクト	26,290
	2	IoTを核とした人材育成と実証による産業創出イノベーション推進事業	4,187
	3	熊本都市圏東部地域をはじめとした創造的復興による地方創生プロジェクト	100,000
	4	ヘルスケア産業等の振興をはじめとした健康長寿プロジェクト	44,321
	5	中山間地域におけるしごと創生・好循環プロジェクト	89,900
	6	「攻めの経営」「選ばれるしごと」による企業力向上プロジェクト	63,290
	7	熊本県プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業	18,982
	8	自然共生型産業を核とした地域未来投資促進プロジェクト ＜地域未来投資＞	58,003
	9	IoTを活用した熊本発！未来投資促進プロジェクト ＜地域未来投資＞	33,003
	10	地方創生未来型農業の拠点づくり支援プロジェクト ＜地域未来投資＞	63,953
	11	環境負荷を抑制する循環型ビジネス等の構築に向けた地域未来投資促進プロジェクト ＜地域未来投資＞	65,000
	12	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムによる交流人口拡大プロジェクト	46,277

新規 継続	No	プロジェクト名	申請額 (千円)
継続	13	くまもと県南フードバレー 地域農産物活用拠点強化プロジェクト ＜地域未来投資＞	100,000
	14	阿蘇カルデラのめぐみを活用した観光産業創造事業 ＜地域未来投資＞	24,000
	15	「くまもとではたらく」若者の県内定着促進プロジェクト	30,490
	16	大河ドラマを契機とした県北地域の広域周遊観光プロジェクト	15,000
新規	17	「くまもと暮らし」スタートアップ応援プロジェクト	42,147
	18	集え未来の担い手！技能継承”SMART”推進プロジェクト	22,042
	19	くまもと発！自然共生型産業成長促進プロジェクト	17,740
	20	「選ばれる熊本」を目指して！人の流れ創出プロジェクト	63,361
	21	熊本版地方創生 移住・企業支援プロジェクト	51,636
合計			979,622

平成30年度補正地方創生拠点整備交付金

新規 継続	No	プロジェクト名	交付予定額 (千円)
新規	1	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムにおける中核拠点整備プロジェクト	157,411